



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月8日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
コード番号 9716 URL <https://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 （氏名）奥本 清孝
問合せ先責任者 （役職名）取締役 常務執行役員 （氏名）前島 隆之 （TEL）03（5962）1119
半期報告書提出予定日 2026年10月8日 配当支払開始予定日 2026年11月20日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	73,322	△9.0	5,261	△23.7	5,426	△22.8	3,412	△23.2
2026年2月期中間期	80,534	39.0	6,895	377.9	7,027	360.2	4,442	421.5

（注）包括利益 2027年2月期中間期 3,407百万円（△25.5%） 2026年2月期中間期 4,571百万円（319.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	30.57	30.57
2026年2月期中間期	39.82	39.81

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	91,743	60,831	66.3
2026年2月期	95,333	62,035	65.1

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 60,831百万円 2026年2月期 62,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2027年2月期	—	22.00	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	—	—	22.00	44.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,000	3.3	13,400	4.5	13,600	4.5	9,250	1.3	82.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年2月期中間期	119,896,588株	2026年2月期	119,896,588株
2027年2月期中間期	8,235,252株	2026年2月期	8,303,799株
2027年2月期中間期	111,622,166株	2026年2月期中間期	111,565,506株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 補足情報	11
市場分野別の生産高、受注高および受注残高の実績	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	80,534	73,322	△7,212	△9.0
営業利益	6,895	5,261	△1,633	△23.7
経常利益	7,027	5,426	△1,601	△22.8
親会社株主に帰属する 中間純利益	4,442	3,412	△1,030	△23.2

当中間連結会計期間(2026年3月1日～2026年8月31日)における日本国内の景気は、緩やかに回復しているものの、中東情勢の影響や金融資本市場の変動の影響などに注意を要する状況でありました。

このような経済状況の中、当社グループが事業を展開するディスプレイ業界では、堅調なインバウンド需要や全国各地の都市再開発を背景に、市場環境は底堅く推移いたしました。一方で、資材価格や労務費の上昇に加え、調達環境の変化が工程等に及ぼす影響については、引き続き注視が必要な状況でありました。

以上のような状況のもと、当社グループは、2026年度を初年度とする中期経営計画(2026年度～2028年度)のもと、2028年度にありたい姿として掲げる「空間創造のあらゆるシーンを担う乃村工藝社グループーディスプレイ業の枠を超え、オンリーワンの企業集団へ」の実現に向け、“3つの変化”(※)を柱とする事業戦略、その実行を支える基盤戦略、将来を見据えた海外戦略にもとづく各種取り組みを進めてまいりました。

事業活動といたしましては、前年同期に大阪・関西万博に関する売上を計上していた博覧会・イベント市場や、首都圏における都市再開発に伴う大型案件を手掛けていた複合商業施設市場において売上が減少いたしました。一方で、ホテルやテーマパーク等を手掛ける余暇施設市場や、オフィスの新設・改装等を手掛けるその他市場では、売上が堅調に推移いたしました。また、受注状況は引き続き好調で、当中間連結会計期間の受注高および当中間期末時点の受注残高は、いずれも前年同期を大きく上回る水準となっております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期に比べ9.0%減少し、733億22百万円となりました。利益面におきましては、売上高の減少等により、営業利益は52億61百万円(前年同期比23.7%減)、経常利益は54億26百万円(前年同期比22.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は34億12百万円(前年同期比23.2%減)となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

※当社グループは、以下の“3つの変化”を事業戦略の柱としております。

- ・空間創造のサイクルを回し、次の創出へつなぐ
- ・商品・サービスを進化させ、時代に合わせた価値を提供する
- ・空間をめぐる多様なビジネスモデルを開発する

市場分野別の売上高は次のとおりです。

(単位：百万円)

市場分野名	売 上 高		増減額	増減率 (%)
	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	21,058	20,156	△902	△4.3
百貨店・量販店市場 (百貨店・量販店等)	1,818	1,959	141	7.8
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	9,261	6,769	△2,492	△26.9
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	7,518	8,262	744	9.9
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	4,306	4,367	61	1.4
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテインメント施設、動物園、水族館等)	11,493	14,104	2,610	22.7
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	10,838	1,645	△9,193	△84.8
その他市場 (オフィス、ブライダル施設、サイン、モニタメント、飲食・物販事業等)	14,240	16,058	1,817	12.8
合 計	80,534	73,322	△7,212	△9.0

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産の部)

資産合計は、前期末から35億89百万円減少し、917億43百万円となりました。

流動資産は、前期末から36億82百万円減少し、756億44百万円となりました。これは主に、有価証券、現金及び預金が増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものです。

固定資産は、前期末から93百万円増加し、160億99百万円となりました。これは主に、無形固定資産の増加によるものです。

(負債の部)

負債合計は、前期末から23億85百万円減少し、309億12百万円となりました。

流動負債は、前期末から21億85百万円減少し、264億73百万円となりました。これは主に、買掛金の減少によるものです。

固定負債は、前期末から1億99百万円減少し、44億39百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債の減少によるものです。

(純資産の部)

純資産合計は、前期末から12億4百万円減少し、608億31百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものです。

この結果、自己資本比率は前期末の65.1%から66.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前期末から44億71百万円増加し、420億23百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務等の減少、法人税等の支払がありました。税金等調整前中間純利益の計上、売上債権及び契約資産の減少等により、97億91百万円の収入（前年同期は34億50百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得等により、6億37百万円の支出（前年同期は3億89百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、47億22百万円の支出（前年同期は36億円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月14日に公表いたしました2027年2月期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,561	23,141
受取手形、売掛金及び契約資産	38,340	29,330
有価証券	15,991	18,982
棚卸資産	1,071	1,491
その他	2,488	2,834
貸倒引当金	△126	△135
流動資産合計	79,327	75,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,217	7,247
土地	4,071	4,071
その他	2,851	2,992
減価償却累計額	△6,249	△6,489
有形固定資産合計	7,890	7,821
無形固定資産	639	862
投資その他の資産		
投資有価証券	4,016	3,999
退職給付に係る資産	1,471	1,374
繰延税金資産	853	861
その他	1,309	1,357
貸倒引当金	△176	△176
投資その他の資産合計	7,475	7,415
固定資産合計	16,006	16,099
資産合計	95,333	91,743

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,033	9,011
未払法人税等	2,591	2,182
契約負債	3,243	8,885
賞与引当金	2,567	2,383
完成工事補償引当金	139	381
工事損失引当金	25	—
株式報酬引当金	16	—
その他の引当金	—	30
その他	8,042	3,597
流動負債合計	28,659	26,473
固定負債		
退職給付に係る負債	3,802	3,623
繰延税金負債	240	206
株式報酬引当金	—	7
その他	596	601
固定負債合計	4,638	4,439
負債合計	33,298	30,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	7,093	7,159
利益剰余金	46,078	44,804
自己株式	△1,047	△1,039
株主資本合計	58,622	57,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,851	1,830
為替換算調整勘定	569	636
退職給付に係る調整累計額	992	941
その他の包括利益累計額合計	3,413	3,408
純資産合計	62,035	60,831
負債純資産合計	95,333	91,743

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	80,534	73,322
売上原価	64,181	58,556
売上総利益	16,353	14,766
販売費及び一般管理費	9,457	9,504
営業利益	6,895	5,261
営業外収益		
受取利息	29	105
受取配当金	45	46
仕入割引	14	—
保険配当金	24	18
その他	23	30
営業外収益合計	137	200
営業外費用		
為替差損	5	35
営業外費用合計	5	35
経常利益	7,027	5,426
特別利益		
投資有価証券売却益	40	—
特別利益合計	40	—
特別損失		
固定資産除売却損	3	1
減損損失	183	—
特別損失合計	187	1
税金等調整前中間純利益	6,881	5,425
法人税等	2,439	2,013
中間純利益	4,442	3,412
親会社株主に帰属する中間純利益	4,442	3,412

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	4,442	3,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	224	△20
為替換算調整勘定	△108	66
退職給付に係る調整額	12	△51
その他の包括利益合計	128	△4
中間包括利益	4,571	3,407
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,571	3,407

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,881	5,425
減価償却費	667	432
減損損失	183	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	525	△184
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	104	40
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△141	△196
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	17	242
工事損失引当金の増減額(△は減少)	41	△25
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	5	7
その他の引当金の増減額(△は減少)	29	30
受取利息及び受取配当金	△75	△151
投資有価証券売却損益(△は益)	△40	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	13,674	9,038
棚卸資産の増減額(△は増加)	△74	△413
前渡金の増減額(△は増加)	508	△268
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,006	△3,044
未払金の増減額(△は減少)	△2,042	△2,085
契約負債の増減額(△は減少)	754	5,632
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,737	△1,981
その他	△2,495	△460
小計	5,217	12,043
利息及び配当金の受取額	75	151
法人税等の支払額	△1,842	△2,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,450	9,791
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100
有形固定資産の取得による支出	△365	△83
無形固定資産の取得による支出	△120	△382
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△42	△13
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	124	—
敷金及び保証金の差入による支出	△34	△90
敷金及び保証金の回収による収入	52	38
その他	△4	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△389	△637
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△3,551	△4,660
その他	△48	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,600	△4,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△598	4,471
現金及び現金同等物の期首残高	31,322	37,552
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,723	42,023

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、ディスプレイ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
現金及び預金勘定	23,724百万円	23,141百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	—	△100
有価証券勘定	6,998	18,982
現金及び現金同等物	30,723	42,023

3. 補足情報

市場分野別の生産高、受注高および受注残高の実績

① 生産高の実績

(百万円)

市場分野名	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
専門店市場	21,044	20,243
百貨店・量販店市場	1,806	1,966
複合商業施設市場	9,238	6,795
広報・販売促進市場	7,572	8,241
博物館・美術館市場	4,343	4,392
余暇施設市場	11,622	14,154
博覧会・イベント市場	10,855	1,652
その他市場	14,247	16,223
合計	80,731	73,669

(注) 生産高の金額は販売価格によっております。

② 受注高および受注残高の実績

(百万円)

市場分野名	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
専門店市場	20,369	13,628	23,985	17,119
百貨店・量販店市場	2,042	1,219	1,379	408
複合商業施設市場	5,048	7,170	5,638	9,374
広報・販売促進市場	8,349	7,001	12,466	8,788
博物館・美術館市場	5,932	6,052	6,875	6,948
余暇施設市場	9,734	13,600	15,370	22,316
博覧会・イベント市場	6,413	3,083	6,637	5,738
その他市場	18,055	12,463	19,617	18,149
合計	75,945	64,220	91,971	88,844